

## 中学1年 オリエンテーション合宿を終えて（感想抜粋）

- このオリ合宿でいろんな事を学んだと思う。失敗しても次がんばればいいのか、友達は積極的に話しかけるといふのも教えてもらった。あと人間は1人ではとても弱いとか、知恵も1人ではかしくならないとか。だからこれからの学校生活でオリ合宿で学んだことをいろいろ経験して、あらためて実感できたらなあと思う。

- この合宿で、勇気を出してしゃべりかけたら友達ができることがわかった。自分からはまだしゃべりかけられないけれど、相手がしゃべりかけてくれて友達ことができました。あと、みんな協力することはとても大切だと分かりました。一人じゃできないことも多いし、みんなでやればすぐにできると思えました。だから何か困っている人がいたら、手伝ってあげたいと思いました。



- この合宿をして、いろんな人がいる事に気付けたし、みんなのいいところにも気付きました。少し短所も見つけちゃったけど、それよりも長所も見つけて良かったです。だからそれぞれの個性を理解して、これからももっと友達を増やしたいです。

● 一番感じたことは、「友達って大切だな」と思いました。少ししゃべるだけでもとっても楽しかったし、一人にいるときは誰かが来てくれたりして、とっても良い気分になりました。1人にいるより、絶対に楽しい気分になって、「友達できるかな」って思っていた気持ちも吹っ飛んで、もやもやがなくなって、「友達ってとても大切だな」と思いました。この合宿の前と後では、団結力もついたし、絆も深まったと思います。



- 班長ができてとても良かったです。達成感がとてもあり、みんなが私の努力を見てくれていたと思うと嬉しかったです。競技に勝って表彰台に出る人を決めるのに、みんなが自分を見てくれて、私の頑張り



がみんなに伝わっているのかな？と嬉しくなりました。ダメなところもあって、5分前集合の時間でもうっかり忘れていて「どうしよう」とパニックになった時がありました。その時、他の班長が言ってくれて、みんなを集めてくれて嬉しかったです。



- 初めて学校に行く時は、友達ができるかなって不安だったけれど、しゃべれない子としゃべれたり、やさしい子ばかりで幸せでした。オリ合宿の前に友達になった子も前よりなかよくなれたので、薫英に入れて良かったと思えました。だから、つらい時もかなしい時も、助け合えたらなあと思えました。逆につらい時、悲しい時があったら、そばにいてあげたいです。知らなかった一面を見て、この子ってこんなにやさしいかったんだって思いました。次は、となりのクラスの子とも友達になりたいです。

